



OpsReal
WMS

OpsReal営業倉庫

営業倉庫の未来をつかむ クラウド型WMS OpsReal営業倉庫

running on aws

倉庫現場の「Real」な「Operations」を反映、
倉庫運用を強力にサポートする「OpsReal営業倉庫」で
現場運用の効率化と倉庫管理を強力に支援



OpsReal営業倉庫とは

営業倉庫運営に対応したWMS（倉庫管理システム）です。

3期制保管料計算や荷役料計算など、営業倉庫事業に欠かせない各種要件に対応。倉庫実務経験に裏打ちされた豊富な機能と柔軟なカスタマイズ性で、物流現場運用をしっかりとサポートします。

世界的なクラウド基盤であるAWSで稼働し、高品質かつセキュアな環境を実現。

長年のノウハウを凝縮したシステム構成で、営業倉庫に限らず様々な物流現場の複雑な運用の負担を軽減します。

OpsRealの概念

OpsReal WMSは、倉庫現場のリアルな要望と改善を即座にシステムへ反映すべく、**DevOps**の考え方を融合させた“成長型WMS”です。

リアルな現場運用から生まれたシステムのため、進化し続ける現場に合わせて導入後も要望や改善提案を取り込み、常に現場にフィットする仕組みを提供します。

- 現場の「こうしたい」をシステムに即反映
- スタッフがすぐに慣れる直感的なUI
- DevOps型の仕組みで小規模改修が容易
- クラウド対応でシステム更新もスムーズ

OpsRealだからこそ、実現できます！

?? DevOpsとは？

「Development（開発）」と「Operations（運用）」を組み合わせた造語で、開発と運用が一体となることで『開発の高速化や頻度向上』『継続的なフィードバックループ形成によるシステムバグ現象や安定性向上』を実現する開発手法です。



OpsRealの特徴

1 営業倉庫運営に必要な機能を搭載しています

- ・ 3期制保管料、荷役料計算等の営業倉庫要件に対応
- ・ 倉庫協会提出用資料・火災保険付保用資料も簡単出力
- ・ トータル・個別ピック・バッチ運用など多彩なピッキングに対応

2 AWSでの安定稼働 ※aws : amazon web service

- ・ SLAはAWSに準拠し、高い可用性を実現
- ・ 共有ホスト・占有ホストから選択可能

3 現場運用で得たノウハウを反映

OpsRealは現場で使われてきた「Real」な「Operations」を反映しています。
自社倉庫運営で得た物流業界のトレンドをフィードバック、
実際の現場目線での「使いやすさ」を追求したシステムです。

4 カスタマイズにも対応

- ・ 自社開発だからこその迅速な拡張対応
- ・ 経験豊富なパートナー企業との協業
- ・ カスタマイズ可能だから、寄託者や現場要望に合わせたシステム構築が可能



主要機能一覧

在庫管理機能

- ・ 寄託者毎に異なる数量管理
- ・ 2 単位の数量管理が可能
- ・ フリーロケーション対応
- ・ 先入先出対応
- ・ 最大5種類のキーからSKU構成可能

入荷機能

- ・ 入荷予定対応
- ・ EDI/データアップロード対応
- ・ ハンディターミナル(HHT)検収
- ・ 在庫管理用ラベル発行可能
- ・ QRコード対応

出荷機能

- ・ HHT検品対応
- ・ 個別指定/一括在庫引当
- ・ 在庫ロス・欠減調整機能
- ・ 寄託者からの指図入力
- ・ EDI/出荷指示連携
- ・ 送り状、荷札発行
- ・ 運送便自動設定機能
- ・ 運送会社連携
- ・ 同梱、荷合わせ機能

保管中機能

- ・ ロケーション移動 (HHT対応)
- ・ 倉庫移動 (建屋移動)
- ・ 在庫/受払履歴/ロケーション照会
- ・ 名義変更
- ・ 当日作業進捗照会
- ・ 棚卸/HHT棚卸

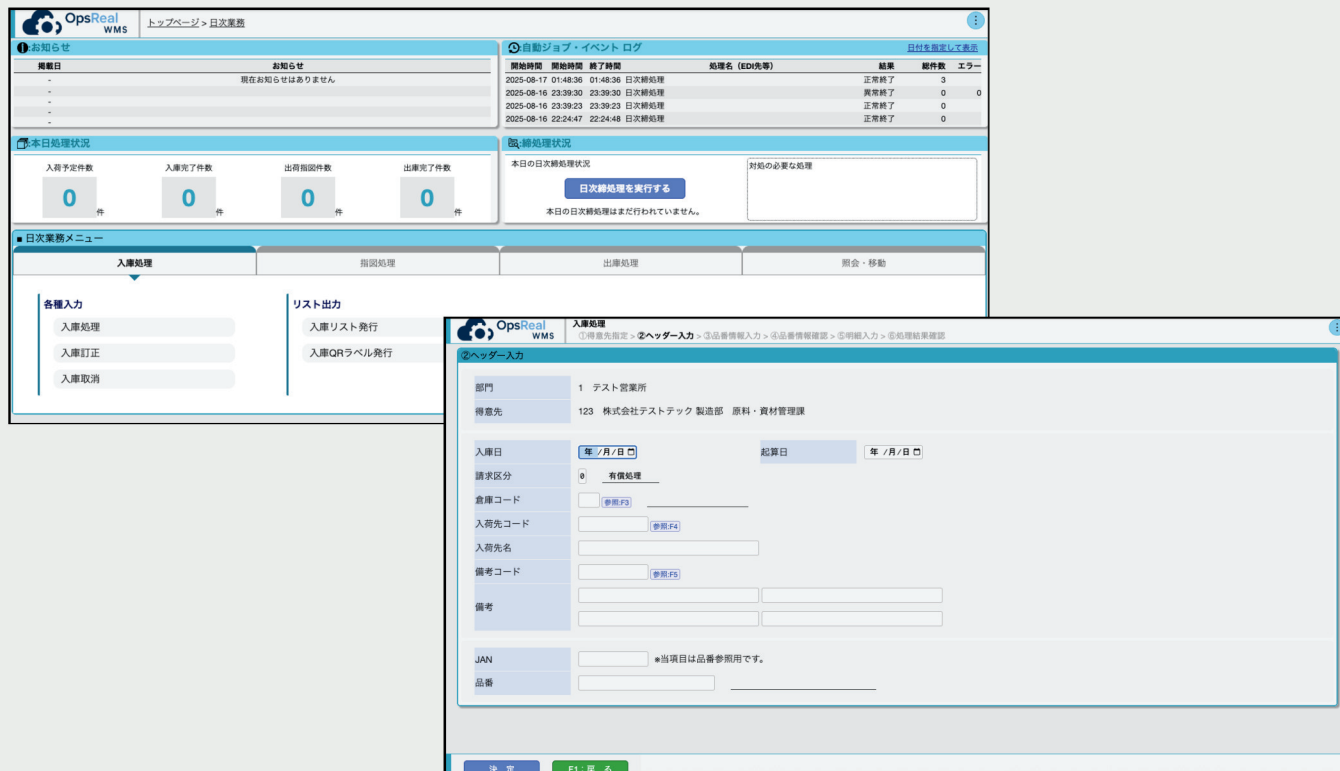
請求、管理資料

- ・ 雑作業入力/請求対応
- ・ 支払入力機能
- ・ 3 期制保管料/荷役料請求書
- ・ 在庫回転率一覧
- ・ 長期滞留品一覧
- ・ 倉庫残高/受払報告書等



システムイメージ

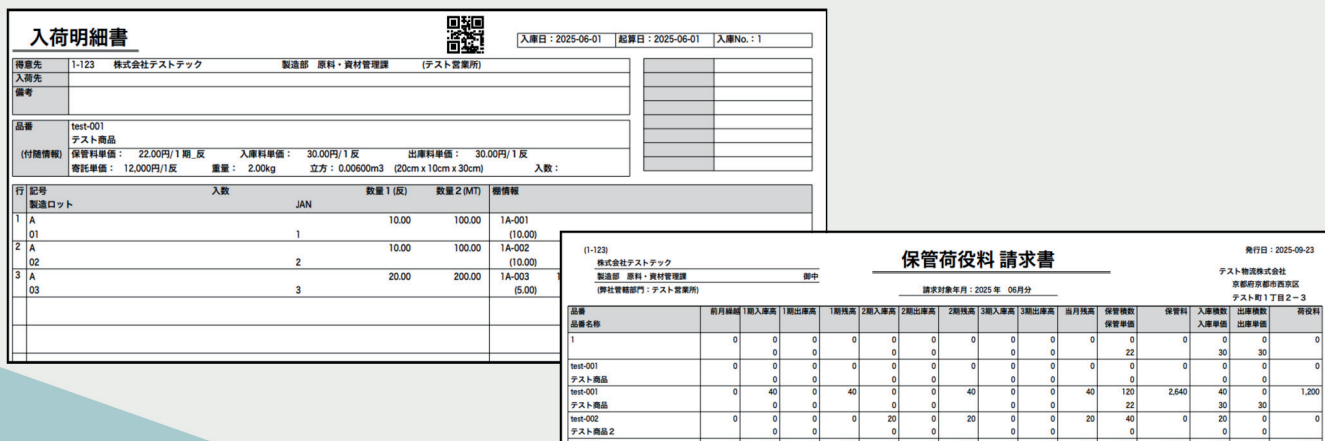
画面イメージ



The screenshot displays the OpsReal WMS interface. The top section includes a navigation bar with 'お知らせ' (Notice) and '自動ジョブ・イベント ログ' (Automatic Job/Event Log). Below this, there are summary cards for '本日処理状況' (Today's Processing Status) showing counts for '入荷予定件数' (Arrival planned), '入荷完了件数' (Arrival completed), '出荷指図件数' (Shipment instruction), and '出荷完了件数' (Shipment completed). A '日次業務メニュー' (Daily Business Menu) is also visible. The main area shows a detailed '入庫処理' (In-stock processing) form with fields for '部門' (Department), '得意先' (Customer), '入庫日' (In-stock date), '請求区分' (Billing category), '倉庫コード' (Warehouse code), '入荷先コード' (Arrival code), '入荷先名' (Arrival name), '備考コード' (Remarks code), '備考' (Remarks), 'JAN' (Barcode), and '品番' (Product number).

ブラウザベースで視認性が良く、ユーザーに優しいUI設計を意識しています。一方、ファンクションキーやタブ対応でキーボードのみでの業務操作も可能です。

帳票イメージ



The screenshot displays two documents from the OpsReal WMS system. The left document is the '入荷明細書' (In-stock Statement), which includes a header with '入庫日' (In-stock date), '起算日' (Calculation date), and '入庫No.' (In-stock number). It lists '得意先' (Customer), '入荷先' (Arrival point), and '備考' (Remarks). The main table shows '行' (Line), '記号' (Symbol), '入数' (Arrival quantity), '数量1 (反)' (Quantity 1 (Reel)), '数量2 (MT)' (Quantity 2 (MT)), and '情報' (Information). The right document is the '保管荷役料 請求書' (Storage/Handling Fee Invoice), which includes a header with '発行日' (Issue date), '倉庫' (Warehouse), and '品番' (Product number). The main table shows '品番' (Product number), '前月繰越' (Previous month carryover), '1期仕入' (1st period arrival), '1期仕出' (1st period shipment), '2期仕入' (2nd period arrival), '2期仕出' (2nd period shipment), '当月仕入' (Current month arrival), '当月仕出' (Current month shipment), '保管料' (Storage fee), '入庫数' (Arrival quantity), '仕出数' (Shipment quantity), and '荷役料' (Handling fee).

基本的に各種帳票はPDFで出力されますが、Windowsでは当社アプリを導入することで、荷札ラベル等の一部帳票の自動発行にも対応しております。



OpsReal
WMS

OpsReal営業倉庫

導入メリット



倉庫業務の効率化・事務負担軽減

リアルタイムでの在庫管理・入出荷管理によりミスを削減
HHT（ハンディターミナル）活用により誤出荷率の抑制へ
EDIやAPI連携などのデータ活用で事務負担を軽減



拡張性・柔軟性

倉庫の成長や事業拡大に合わせたカスタマイズが可能
既存システム連携やAPI連携もご相談頂けます
WEBベースのシステムで、利用環境を幅広くサポート



安心のサポート体制

システム基盤はAWSを採用し、安定かつセキュアな環境をご提供
AWSアドバンスドコンサルティングパートナーによる運用保守
システム運用保守の負担がなく、社内SEの後継者問題も安心です



導入実績

営業倉庫・自社倉庫合わせ、約30社への導入経験チームが運営
他社導入時のノウハウを活かし、常に機能をアップデート
小規模導入数だからこそ、小回りの利く対応が好評です



導入に関して

導入に要する期間について

当ソリューションは柔軟なカスタマイズが可能な為、導入規模に応じて大幅に異なります。過去実績では最短で1か月～最長で2年間となっております。例として、体験版をそのまま本番導入頂く場合には2週間程度の導入が可能です。

利用環境について

Webシステムの為、Chrome・Edge・Safari等のメジャーなブラウザを搭載したデバイスであればWindows、Mac、Android関わらずにご利用頂けます。

※印刷拡張機能（フォルダ監視による自動出力）をご利用の場合はWindowsが必要です。

ご利用料金（税別）

▶ 体験版をそのまま本番導入頂く場合（ボリュームディスカウント、乗換割引等ございます。詳細は担当にご確認下さい）

	費用	費用内訳、課金条件
初期導入費用	200,000円	アカウント登録費用、基本設定費用
基本月額利用料	50,000円	10ユーザーまで利用可能
追加ユーザー費用	5,000円	11ユーザー以上ご利用時、1ユーザー追加月額

▶ オプション

ヘルプデスクサポート	月額：5万円	利用方法、トラブルご相談等のサポート窓口を開設します。
E D I 対応オプション	別途お見積り	各種 E D I 対応はカスタマイズ要件となります。
占有ホスト利用	別途お見積り	ご利用規模に応じてのお見積りとなります。

▶ カスタマイズについて

カスタマイズ規模に応じて初期費用・月額費用共に大幅に異なる為、別途お見積りとさせていただきます。（上記はあくまでも体験版と同じパッケージをそのままご利用頂く場合の金額となります。）



会社情報・お問合せ

株式会社コツカ

大阪本社

〒541-0051

大阪市中央区備後町 2 - 4 - 6 コツカビル 4 階

OpsReal担当 山下・津木



06-6201-2575



opsreal@kokka.co.jp



<https://opsreal.com>

[体験版のご利用はこちらから](#)

会社概要

- ・ 設 立 1948年10月
- ・ 事業内容 キャラクターなどの生地や手芸用品・
製品の企画・製造・販売
- ・ 事業所 大阪本社、東京支店、福岡事業所
上海新翔国华商贸、
米国KOKKA U.S.A., INC.
大阪堺物流センター、
滋賀甲賀倉庫（出荷拠点）

沿革（物流・システム関連）

- ・ 1945年 設立
- ・ 1975年 大阪箕面に自社配送センター開設
- ・ 2007年 株式会社ホームクラフト設立
第一次自社物流システム稼働
- ・ 2023年 滋賀甲賀倉庫開設
第二次自社物流システム稼働
寄託貨物の配送受託開始
- ・ 2024年 物流システム外販事業開始